



森の妖精たち

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 活動の思い出となる手作りの記念品を作り上げることができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

2 活動の概要

身近な自然素材である松ぼっくりの特徴を生かし、身の回りの自然物をくっつけながら、森にすむ動物や自分で考えた妖精たちを製作する活動です。

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校5年生以上
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1～1.5時間（説明15分+活動45～75分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 30円/1人
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行う。



<作品例1>

3 準備物

団体	救急薬品、作品を持ち帰る段ボールなど
個人	軍手
自然の家	材料：松ぼっくり、ドングリや小枝などの自然物、木の輪切り1個、麻紐、豆類 動く目玉2個 用具：ホットボンド、木工用ボンド、のこぎり、剪定ばさみ、はさみ、カッター 延長コード、ピンセット、油性ペン、きり、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<製作の様子>

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明
活 動	<p>① 松ぼっくりや準備された自然物から、どんな作品を作るかイメージする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に森にすむ生き物を模した物や、空想の妖精などそれぞれの自由な発想でよい。 <p>② ホットボンドを使いながら、松ぼっくりに自然物などをくっつける</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは、目となる部分から接着し、次に鼻や口、髪や羽などを付けていくとイメージしやすい。 松ぼっくり全体を見回し、接着しやすい面を考え、工夫する。 <p>※ドングリをくっつける際は、表面を紙やすりで傷けると接着しやすい。</p> <p>※細かい材料の接着にはピンセットを使用し、やけどに注意する。</p> <div data-bbox="1066 488 1417 891" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">＜作品例2＞</p> <p>③ 木の輪切りに、ボールペンで名前や日付等を書き入れる。</p> <p>④ 木の輪切り（台座）にホットボンドで固定し完成。</p> <ul style="list-style-type: none"> 松ぼっくりをしっかりと台座に接着させるために、松ぼっくりの下側を剪定ばさみで2～3カ所カットすると安定し、取れにくくなる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ

6 実施上の留意点

- 松ぼっくりの形状上、ホットボンドによる接着はある程度限界があることを考慮し製作する。
- 作品を持ち帰る際は、壊れないよう段ボールを用意するなど工夫が必要である。
- 低、中学年が実施する場合は大人がつくことが望ましい。

7 安全に実施するためのポイント

- ホットボンド使用によるやけどや、はさみ等での怪我に十分注意する。
- 用具を散乱させておかないように注意する。

口金がとても熱くなるので、やけどの危険がある。

でてきたばかりの接着剤もとても熱いので、注意する。



本体が十分冷えてからコードをむすび、返却する。



＜作品例3＞